



2026年5月13日

各位

上場会社名	株式会社平賀
代表者	代表取締役社長 中前 圭司
(コード番号)	7863 東証スタンダード)
問合せ先責任者	取締役後方部門管掌 上出 真太郎
(TEL)	03-3991-4541)

中期経営計画（SPX2027）における数値目標の取扱い見直しに関するお知らせ

当社は2026年5月13日開催の取締役会において、成長戦略の実行フェーズへの移行および経営運営の高度化を目的として、2024年5月10日に公表しておりました中期経営計画「SPX2027」（2025年3月期～2027年3月期）について、その取扱いを見直すことを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 取扱い見直しの背景

当社は、「小売流通の今日を見つめ、明日をデザインする。」をミッションに掲げ、小売流通業界の課題解決に特化した事業モデルを推進してまいりました。

2024年度に公表した中期経営計画「SPX2027」では、2025年3月期から2027年3月期を変革期と位置づけ、事業のシフトチェンジ、付加価値領域へのリソースシフト、新規事業探索、人材・マネジメント体制の整備など、将来成長の土台づくりに取り組んでまいりました。現在、これらの取り組みは一定の進展を見せており、当社の経営課題は、「構想・計画」から「実行の質とスピードをいかに高めるか」という次のフェーズに移行しております。

一方で、当社を取り巻く事業環境は、原材料価格の高止まりや業界構造の変化などにより、依然として不確実性の高い状況が続いております。加えて、原価構造および業務構造の転換はなお変革の途上段階にあり、収益構造もまた変革過程にあります。

このような状況を踏まえ、当社では、一定期間を区切った従来型の中期経営計画に基づく数値目標管理よりも、単年度ごとの実行計画と進捗を重視した経営の方が、現時点では実効性が高いと判断いたしました。このため、2024年度に公表した中期経営計画「SPX2027」における数値目標については、その取扱いを見直し、取り下げることといたしました。

2. 長期ビジョンおよび成長戦略

今回の取扱い見直しは、当社のミッション、ビジョン、ならびに2030年に向けた長期的な成長戦略を変更するものではありません。

当社は引き続き、

- ・小売流通業に特化したコンサルティング力と実行力を強みに、顧客の企業価値向上に伴走すること
 - ・高付加価値領域の拡大、生産性構造の強化、成長性投資を通じて、中長期的な企業価値を高めること
- を経営の基本方針として、変革を継続してまいります。

今後の成長戦略の肝は、単純な売上規模の拡大への依存から脱却し、「小売業の課題解決力」を重視した付加価値型の収益構造への転換にあります。単年度ごとの着実な実行と改善を積み重ねることで、持続的な成長と資本効率の向上を実現してまいります。

3. 今後の経営運営および情報開示について

今後は、成長性投資や資本政策を含む重要な経営テーマについては、取締役会を中心に継続的な議論と検証を行い、実行力を重視した経営を推進してまいります。

また、中期経営計画に代えて、単年度の業績目標および重点戦略をより明確に定め、その進捗状況や経営判断の内容について、適時・適切な開示を行ってまいります。

以 上